

「なごや東山の森づくりの会」定例森づくり活動 報告 2012.6.5 (水谷)

日 時 2012年6月3日(日) 10:00~14:00 天候:曇り時々晴れ

活動場所 くらしの森

作 業 ①湿地・せせらぎ周辺のキショウブ除伐②オタマジャクシ池上シホウチク竹藪の手入

集合場所 里山の家

参加者 会員26名(内子ども2名)、企業会員(TG社)17名(子ども2名) 計43名

- 薄曇りで日差しは強くなく、まずはよい作業日和となりました。企業会員のTG社17名も参加総勢43名となり全体を2つのグループに分けることとなりました。
- ①班は、このところ湿地、水辺に急激に広がりを見せ、黄色の美しい花を咲かせ愛好家も多いのですが「要注意外来生物」に指定されているキショウブの除伐を。企業会員中心の②班はオタマジャクシ池上部北側のスホウチク、シホウチクの伐採と整理をすることになりました。
- キショウブ除伐グループ(会員15名程)は長靴で水辺や湿地に入りツルハシやスコップで予め赤いテープでマーキングしたキショウブを根から掘り起し、掘り起こしたものを集めて一輪車で乾燥広場へ、結構悪戦苦闘した一日でした。せせらぎ沿いや湿地のキショウブをほぼ取りつくしたのは午後2時でした。尚、作業のついでに奥池のヒメダカを探しましたが1匹も見当たらず昨秋の除去作業の効果があったことを確認できました。
- ②班竹伐のチームは企業会員TG社社員その家族と当会会員(10名ほど)で、昨年来皆伐を試みているオタマジャクシ池上部のスホウチクと周りの雑木林にはびこり始めたシホウチクの伐採を行ないました。TG社社員皆様のハイパワーはさすがで、おかげで中道からの景観はすばらしく良くなりました。
- 新しく作製した会員用ビブスが届き、午後はそれを身につけて作業する会員もいました。このビブスは、今後、班活動や臨時作業の時などに着用することになります。



(上) キショウブとの大勝負!
(右) 出来たてのビブスで記念撮影
(下) オタマ池の上はすごい竹ヤブ



(上) マークしたキショウブ
(左) 今日の表彰は2人(兄妹)
(下) 若い力で見事に完遂!

